

「おいしいランチと ディナーをどうぞ」

「益城ソフト」の隣に今年3月21日にオープンしたのが「益城キッチンブービーズ」です。ログハウスの印象的な外観と木の温もりが伝わる店内では、あか牛をはじめとしたおいしいメニューが提供されています。

同店の看板メニューの一つが、あか牛肉をぜいたくに使った「ブービーズハンバーガー」。つなぎは一切使用せず、あか牛のジューシーな肉のうまみを押し出したボリューム満点のハンバーガーです。ソースはデミグラスソースとオリジ



あか牛の肉を使ったボリューム満点の「ブービーズハンバーガー」

ナルソースの2種類から選べ、新鮮な野菜もたっぷりです。他にも「ワンプレートハンバーグランチ」や「ブービーズカレー」などのランチメニューの他に、気軽にお酒と一緒に楽しむことができるディナーメニューもそろっています。

「以前は熊本市中央区のシャワー通りに店を構えていました。海外にレストランを出したいと計画しましたが、コロナ禍の影響で断念することに…。しかし、益城町のこの場所とご縁ができて、元気に再スタートを切ることができました」と笑顔で話すのはオーナー

シェフの一人、柳川尚司さん。



木の温もりが広がる店内

広いウッドデッキスペースではペット同伴が可能な開放的な空間でランチを味わったり、星空を眺めながらおいしいお酒と料理も楽しめます。



ボランティアで演奏活動を行っている「みゆき&オートルズ」のお2人

心に響く メロディーを届けて

寺迫地区に暮らす松本みゆきさんは、馬水北に住む徳山秀人さんと「みゆき&オートルズ」のバンド名でユニットを組み、益城町を中心にボランティアで演奏活動を行っています。

松本さんは、「定年後の楽しみに音楽を始めた」という徳山さんと民生委員の活動を通じて知り合い、ユニットを結成して16年。バンド名の中の「オートルズ」は「年を重ねた(オールド)」と「音が合っている(オートル)」を掛け合わせた、ウィットに富んだネーミングです。町内のサロンや介護施設を訪れ、利用者に向けて、ギターと電子ピアノによる演奏に乗せ、軽やかな歌声を披露しています。



ギターを弾きながら懐メロを披露する徳山さん



自宅でピアノ教室も開いている松本さん

そんな2人の長年のボランティア活動は、町の人たちの広く知る場所となり、演奏を心待ちにする人も多いようです。広崎2町内にある、生活リハビリセンター「広崎くんだん」の利用者に演奏を披露する2人に密着しました。

なごやかな雰囲気の中、お待たかねの演奏が始まると、皆さんの表情がたちまちほだけていきまします。懐メロや童謡唱歌などに響く楽曲で構成され、演奏の合間には徳山さんの楽しい脳トレトーク



「益城キッチンブービーズ」の皆さん。左から柳川さん、オーナーシェフの一人の山田洋介さん、店長の松田将典さん